

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン（GROUP VIS

誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来の実現

ROE
10%営業利益
2,200億円以上当期純利益
1,200億円以上EPS
170円前後

② 中長期の経営戦略

1. 強固な事業ポートフォリオ構築

市況変動への耐久性と高い成長性を兼ね備えた、独自性のある事業ポートフォリオを構築

3. 3つの重点テーマ推進

社会的ニーズの変化から拡大するマーケットで当社グループの強みを発揮

2. ビジネスエコシステム深化

幅広い顧客接点と独自の事業創出力を活かした相乗効果の最大化

4. 財務資本戦略の実行

有利子負債2兆円程度の活用と自己資本積上げによるD/Eレシオ1.8倍以下の実現

③ 対処すべき課題

① リスク対応

- ・ 建築費高騰、金利上昇への対処として多角事業によるリスクヘッジ
- ・ 省資金型事業やフィー収益拡大による対応

② 事業ポートフォリオ最適化

- ・ 競争優位性と成長性の継続的な点検
- ・ 低採算事業の譲渡・売却と成長事業への投資

③ 利益成長と効率性向上

- ・ インフレ・金利上昇を上回る収益確保
- ・ ROA5%、D/Eレシオ1.8倍以下の達成

面接で使えるポイント

- ・ GROUP VISION 2030で掲げる6つのマテリアリティ（事業基盤4つ、経営基盤2つ）を通じた価値創造
- ・ 2030年度営業利益2,200億円以上、当期純利益1,200億円以上の実現に向けた強靱化フェーズの推進
- ・ リニューアブル・ジャパンプラザ子会社化など再生可能エネルギー事業への注力と事業構造改革の進展

証券コード 3289

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.25兆円営業利益率
13.4%財務健康度
44点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 65.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,320万円

不動産業内 8位/130社

平均年齢
42.8歳

不動産業内 30位/131社

平均勤続
15.3年

不動産業内 5位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

資産活用型ビジネスと人財活躍型ビジネスの2つの大きな柱で構成される総合不動産企業

主力事業・セグメント

- UrbanDevelopment 31.9%
- 不動産Agents 28.6%
- 不動産マネジメント・Operat 28.1%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高1.25兆円の大企業
- 営業利益率13.4%の安定した収益性
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考:「環境先進マンションBRANZグリーンボンド」発行に関するお

